

JAZZ WORK SHOP

伊藤 君子客員教授 (Vo.)

ジャズワークショップ (全4回)

【グループについて考える】

ヴォーカリストとして、楽器奏者としてどうやってグループしながら演奏すれば良いのか？

全4回のワークショップを展開し、「グループ」を考察する。

対象

ジャズコース生 (管楽器、リズムセクションの方も歓迎)
※クラシック生も聴講できます。

- ① 日時 9月28日(水) 18:00
会場 BH B103
- ② 日時 10月26日(水) 18:00
会場 BH ビッグマウス
- ③ 日時 11月16日(水) 18:00
会場 BH ビッグマウス
- ④ 日時 12月14日(水) 18:00
会場 BH ビッグマウス

伊藤 君子(Vo.客員教授)プロフィール

1982年、ジャズアルバム「バードランド(THE BIRDLAND)」でレコードデビュー。その後、ニューヨークのジャズクラブへの出演、日野皓正グループをはじめとする日本の本格派ジャズグループとの共演でジャズの実力を磨き、国内外で彼女の歌唱力は高く評価されている。

1989年、日米同時発売されたアルバム「フォロー・ミー(FOLLOW ME)」は、米ラジオ&レコード誌のコンテンポラリー・ジャズ部門の16位にチャート・インするという日本人女性ヴォーカリストとして初の快挙を成し遂げた。ジャズ・ヴォーカリストとして確固たる存在となった伊藤君子は、以降、アルバム、コンサート、海外のジャズフェスティバル、テレビ・ラジオ番組、ライブハウスと、幅広い歌手活動を続け、スイングジャーナル誌の人気投票では1988~96年の女性ヴォーカリスト部門第1位を獲得。

2000年にリリースされたニューヨークでのスタジオ・レコーディング・アルバム「KIMIKO」は、プロデューサーに小曾根真を迎え、ヴォーカリストとしての伊藤君子の魅力を引き出したものと評価され、スイングジャーナル誌2000年度ジャズディスク大賞日本ヴォーカル賞を受賞した。さらに2004年に映画『イノセンス』の主題歌を歌い、新たな挑戦を続けている。

